



2016年4月の熊本地震から5年が経ち、寸断されていた阿蘇への主要アクセスが復興してきています。2020年8月8日にはJR豊肥本線が開通。そして、同年10月3日に国道57号線の2ルートが復旧・開通しました。熊本市方面から阿蘇への移動時間が14～33分短縮しているとのこと。特に「北側復旧ルート」は今まで迂回路のミルクロードで約43分かかっていた所要時間が約10分に短縮されています。

以前も記しましたが、私は大学時代に野球部に所属しており、その野球部の寮とグラウンドがあった阿蘇で4年間生活しておりました。先日、仕事で大分方面に行くことがあったので、行きは開通した「北側復旧ルート」を通りました。北側復旧ルートはイメージしていた入り口とは違ったため、不安になり恐る恐る走行していましたが、いつの間にか終点になり、想像していたより近道になっていたのでも驚きました。

帰りは復旧した国道57号線を通りました。復旧した国道57号線沿いには大学時代に生活していたエリアがあり、今の現状が気になっていたため、あえてその道路を通って帰ることにしました。地震直後から1年程前までは通れなかった道路だったので、懐かしさを感じながら車を走らせました。

生活していたエリアは震災当時報道でも大きく取り上げられた阿蘇大橋付近です。震災以降、当時使用していたグラウンドも寮も使用禁止になっており、遠目から見ても廃虚とまでは言いませんが、こまめに手入れされているような感じではありませんでした。

とても驚いたのが、落橋した阿蘇大橋の一部がそのままにしていたことです。あえて震災遺構として残してあるそうです。実際に見てみると学生時代に毎日通っていた大橋がこのような姿になっていることで震災の激しさを改めて感じてしまいました。そんな思いに浸っている中、背にしていた方を振り向いてみると、だいぶ整備はされていましたが、地滑りした痕跡が残る山が見えました。削れた土砂がいきなり大橋に向かってきたかと思うと、落橋はやむを得ないことを感じさせられます。

約600m下流に「新阿蘇大橋」が架かっていました。私も生活していたので分かりますが、村民の生活にとってとても重要な橋だったので、令和3年3月の開通はとても喜ばしいことでした。観光スポットとして「新阿蘇大橋展望所 ヨ・ミュール」がオープンしており、モダンな作りで阿蘇の大地にとっても合っていました。食べてませんが、阿蘇の三ツ星牛乳を使ったソフトクリームやオレンジ・キャラメルソースが添えてあるジェラードも好評らしいですよ。お時間がある方は是非行ってみてください。

